

平成27年度 事業報告書

公益財団法人杉山検校遺徳顕彰会

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

定款第2章第3条の目的達成のため第4条の事業を「杉山総検校和一の遺徳の顕彰に関わる事業」と統括して以下の事業を実施。

1 学術研究に関わる事業

1. 学術講習会：5回開催、神社本殿および千歳公民館

「初心者のための杉山真伝流実践講座」

5月17日、7月19日、9月27日、11月22日、翌年1月17日

講師：大浦 慈観 先生 北里大学東洋医学総合研究所客員研究員

講演資料：「筑波並木点訳の会」支援作成。

受講者5回 学生138名・一般38名・会員33名 合計209名

2. 杉山鍼灸治療所開設1年の研修報告（3月6日、治療所関係者）

※「春の交流会」は「杉山和一記念館「の内覧会および落成祝賀会を4月24日に行うため本年は休会。

3. 鍼灸講習所の復興（杉山鍼灸治療所研修）

※H27年4月から6月まで毎日曜日に旧建物で、7月から翌3月までは旧治療所撤去のため第2日曜日のみ即明庵（研修室）で開設

指導担当12名、研修生13名、撤去後の7月からは指導担当2名、研究生5名で行い実習料は全て建設資金として寄付。

2 情報提供に関わる事業

1. 広報「杉山」の年4回発行と配布：4月、7月、10月、1月 点字版・墨字版、各300部を配布。

墨田区ボランティアセンター「点訳きつつき」の支援で発行。

2. 機関誌『敬神暦 一暮らしとこよみ』発行：「平成28年版」

9月に3,000部刊行し、実費配布。

3. 杉山検校に関わる遺著の刊行

- (1) 啓発図書『杉山和一』目の見えない人たちを救った偉人
1,000部刊行残部数十部。再版が必要。
- (2) 編集発行できなかつたものは次年度に計画する。

3 顕彰に関わる事業

1. 「第85回杉山検校を偲ぶ会 一鍼管感謝の礼一」

5月17日(日) 江島杉山神社本殿 参加35名余
式典「鍼管に感謝する礼」実施後、講演「両国界隈の歴史」 講師・手塚 利夫 先生 江東区立江東小学校校長

2. 第36回鍼に感謝する集い(鍼供養祭)

9月27日(日)、萬徳山弥勒寺、 参加30名余。
日頃使用している治療鍼に感謝の供養ならびに和一墓前法要。
講演「東洋医学について」 講師： 加賀谷雅彦先生 漢方鍼研究会顧問

3. 「第10回サイトワールド」に参加：

11月3日(文化の日) 墨田産業会館サンライズホール

「杉山和一と塙保己一 人材育成に力を注ぐ」

講演：「杉山鍼治講習所について」一顕彰会一

講師： 村上三千男(東洋はり医学会名誉会長)

「和学講談所の実像を知る」一温故学会一

講師： 嵐 義人(温故学会研究員)

共催：公益財団法人杉山検校遺徳顕彰会、公益社団法人温故学会
史料展示および墨田区、江東区など協力を得て「ツボ体験コーナー」
(ワンコインマッサージ)を開催。体験者は計111名。

4. 史跡並びに古文書などの公開

- (1) 惣録屋敷史跡「施設江島杉山神社」見学者への公開：杉山検校の遺徳の解説、弁天修行の岩屋など史跡ならびに鍼灸・あん摩に関する古医書などを公開するとともに、萬徳山弥勒寺の杉山検校墓所および鍼供養塔を紹介して、遺徳の顕彰の啓発に努める。福島盲学校、沖縄盲学校、インドから学生などが見学。
- (2) 史跡保存維持：江の島の史跡和一墓所および高野山金剛峯寺の和一墓所、ならびに弥勒寺の和一墓所・鍼供養塔の保存・管理。

5. 顕彰活動支援

(1) 各会員グループへの支援

(2) 友好団体との顕彰活動

○神奈川県鍼灸マッサージ師会主催「杉山検校報恩会」との交流：

5月藤沢市江の島の史跡地において

○東京都盲人福祉協会福祉大会での啓発

6. 郷土文化活動への協力・支援

(1) 施設の運営支援：江島杉山神社の運営について地元町内会を支援し
地元と交流を深める。

(2) 地元文化支援事業：神社が企画する行事を支援する。

○5月2日・3日 イベント「両国にぎわい祭り」に参加。

江島杉山神社本殿にて古書・史料などを展示公開。

ツボ体験コーナー(ワンコインマッサージ)を設け杉山鍼灸治療所を開放。2日間で計246名がツボ体験コーナーを利用。

○「春のグランドデザインスタンプラリー」に参加、3月20日(日)
墨田観光協会主催、両国界隈の4講演をスタンプラリー方式で訪ねるイベント。
パネル12枚を作成し、更に神社本殿で宝物の一部を公開する。

○ 神社行事に随時参加。

4 「杉山和一記念館」の建築完成 28年3月3日(木)

2010年杉山和一生誕400年記念事業として記念館(資料館)の建築を目指し本会の下に関係団体からの実行委員による委員会を組織して、21委員会をを開催。全国に募金を呼びかけ、4月1日の一般社団法人日本宝くじ協会の建築資金助成(1,706万4千円→税別1,580万円)の採択決定によって、5年余りの募金を資金として着工(総工費5,994万円→税別5,550万円)、追加工事260余万円。7月に旧建物撤去(撤去費308万円)、8月8日地鎮祭、11月16日棟上げ式、3月20日竣工式を関係者で相集い実施。

内部設備については、資金準備でき次第順次充実して4月24日(日)に内覧会と落成祝賀会を開催する。

杉山和一記念館は鉄骨2階建(建坪30坪、1回に事務室と多目的室、2階に展示室と研修室。バリアフリーを考慮して多目的トイレ、エレベーターを整備、視覚障害者が利用しやすく扉や誘導線に配慮した。

設計は株式会社ハル建築研究所、施工は丸昂建設株式会社。

5 その他

1. 理事会：定時理事会3回、評議員会2回開催。
2. 杉山和一生誕400年記念実行委員会：第20回、21回を5月開催、実行委員会内に11月に落成祝賀会準備委員会を立ち上げ準備に入る。

以上